

風力発電を活用した地域の農林漁業の活性化

青森県横浜町

【経緯】

町は地域振興策として再エネ導入に取り組むと共に、耕作放棄地等の未利用地の有効活用を模索

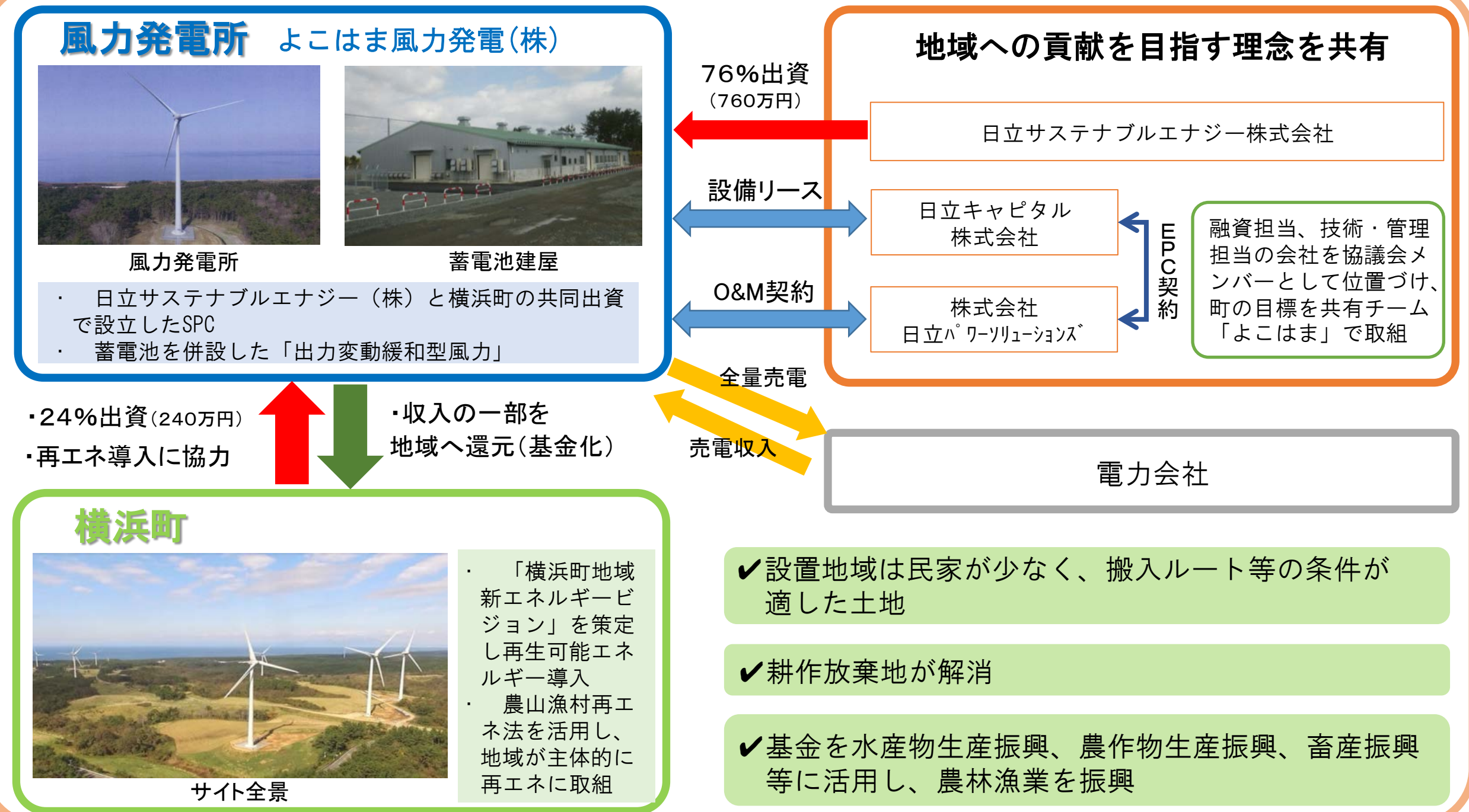
【取組】

- ・地域が主体性を持った取組とするため町が農山漁村再エネ法を活用
- ・周辺環境の良い地域を町が示し風力発電開始

【効果】

- ・耕作放棄地解消と共に売電収入が地域還元
- ・農山漁村再エネ法のスキームで、農林漁業振興の環境を整えた

事業スキーム



今後の展開

- 基金はその時々々の農林水産情勢や各団体等の要望も踏まえて、緊急に対策が必要なものに充当する等、柔軟に対応していく
- 複数事業者による再生可能エネルギー導入の計画があるため、農山漁村再エネ法のスキームを活用し、更なる地域の活性化を図る

【横浜町の概要】

人口:約4,600人 特産品:ホタテ、馬鈴薯、なたね
P R:日本最大規模の作付面積を誇る菜の花畑

【発電所の概要】

所在地:青森県上北郡横浜町字雲雀平 6-1 ほか
発電出力:32.2M(風力発電設備14機、H30.2.1から稼働)

